



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.13
令和5年10月31日
文責：校長 福島

場のもつ力



運動会の応援、ありがとうございました。全校児童が一堂に会し、参観の制限なく運動会を行うのは4年ぶりでした。

「場が人をつくる」という言葉があります。「運動会」という場は特別な力をもった場であることを感じます。

運動会当日の朝もいつものように校門で子供たちを迎えました。普段話しかけてこない子が笑顔で「今日はがんばります！」と話しかけてきたり、エアタッチをする子が思いっきりハイタッチをしたり、わくわく感が伝わります。運動会は、多くの子は普段よりわくわくするのですが、すべての子にとってわくわくする場ではないことも認識しています。走るのが苦手な子もいるし、多くの人に見られると緊張する子もいます。しかし、すべての子にとって特別な場であることはまちがいないと思います。

運動会は特別な力をもっています。普段引き出せない子供の力を引き出すことができます。運動会前日、私は職員に「一人一人にとって、運動会がどんな意味があるのかしっかり考えてほしい。特別な力を持った運動会が、一人一人のどんな力を引き出してくれるのか見極めてほしい。そして、運動会が終わった後にていねいにフィードバックしてほしい。」そう話しました。今週、職員はていねいにフィードバックしていきます。残念ながら、様々な理由で運動会に参加できなかった子もいます。その子たちへのフィードバックはよりにていねいにやっていきたいと思っています。

ご家庭においても、きっと運動会が終わった後お子様と色々な話をされたことでしょうか。それが大切なフィードバックになっています。そしてお子様の自信につながっていることでしょうか。

今回、私がもう一つこだわったことがあります。それは「校歌」です。4年ぶりにみんなで運動場で歌う校歌。誰かとおつながる温かさや多くの力を合わせる喜びを感じさせたいと思いました。歌っていて心に熱いものを感じました。一緒に歌ってくださった方々に感謝します。